

# 7-9

褥瘡0を目指して

オムツのあて方の工夫、ラップ、ナプキン使用など

用具・材料の工夫

個別化

※キーワードは必ずご記入下さい。

特別養護老人ホーム めぐみ園

ケアワーカー畑山亜由美（はたやま あゆみ）	ケアワーカー 松尾 利之（まつお としゆき）
所在地 西東京市柳沢4-1-3	
TEL： 042-461-2230	E-mail： office@tokyo-rojin-home.or.jp
FAX： 042-461-2280	URL： http://www.tokyo-rojin-home.or.jp/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人東京老人ホームは、1990年9月1日、養護・軽費老人ホームと同敷地内に特養80床（他ショートステイ8床）を開設。その後居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を開設。（デイ、包括は市の事業を受託）四方を保育園や小学校～大学に囲まれ、学生との交流も盛ん。特養・養護・軽費ともに全室個室である。
----------------------------	--

<p style="text-align: center;">〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 褥瘡を悪化させないための対応研究</li><li>○ 使用用具・材料の工夫</li><li>○ 清潔の徹底</li><li>○ 排泄時間と体位交換の個別化</li></ul>	<p style="text-align: center;">〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 9月現在褥瘡処置者は1名であり、予防段階～褥瘡初期段階に至っても、それ以上悪化することはほぼ防いでいる。</li><li>○ 排泄・体位交換のチェック表を排泄検討委員会やフロアミーティングで見直すことにより、個別に適切な巡回時間を設定することができた。</li><li>○ オムツのあて方を工夫することで、患部の排尿汚染を減らすことに成功した。</li></ul>
<p style="text-align: center;">〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 排泄検討委員会を中心としたオムツの研究</li><li>○ 排尿間隔の把握とおむつ種類の検討</li><li>○ オムツのあて方の変更（褥瘡当て）</li><li>○ 必要に応じたシャワーボトルによる洗浄（頻度の個別化）</li><li>○ 体位交換チェック表（確実に、かつ個別に）</li><li>○ 褥瘡状況に応じた処置の方法、用具・材料の使用 保護シート作成と使用（ナプキンと穴あきビニールを組み合わせた浸出液等の吸収と保湿効果をねらった保護シートやラップによる湿潤治療法の併用）</li></ul>	<p style="text-align: center;">〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 褥瘡が初期段階で改善に向かうが、完全治癒後、再発に至らない効果的な予防策が不足している。</li><li>○ 陰部清拭時に患部に与える影響と注意点について</li><li>○ 座位時のシーティングの研究</li><li>○ ケアプランと結びついた対応の強化</li><li>○ 栄養状況の再確認（再発時など）</li><li>○ 主治医との効果的な連携方法</li><li>○ 誘導時間の個別化</li></ul>

【メモ欄】